

『授業カード』
【訪問教育部】

小学部 自立活動を主とする教育課程 「にじいろのさかな」

絵本
解説

教材

ねらい

○海の中の情景を感じて、絵本に興味をもち、見たり、聞いたりできる。
○「ください」を表出して教員からウロコを受け取ることができる。



(作: マーカスフィスター
訳: 谷川俊太郎
2007年講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~8)、話す(4~8)
読む(6~12)、書く(6~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~8)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(ア)イ(イ)」
○思判表「アイ Cイ」
算数: 小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の内容を確認する。	・見やすい位置を確認する。 ・本など具体物を提示し、見通しがもてるようにする。
展開①	○本の表紙を見る。 ○波の音を聴いたり、合わせてオーシャンドラムを鳴らし、海の中のイメージを膨らませる。	・場面や中心人物に気付けるようにする。 ・ゆったりと波の音を出す。海の中の情景を膨らませるようにする。
展開②	○「にじいろのさかな」の絵本を見る。	・声の大きさ、速さ、抑揚に気を付け、聞きやすくする。
展開③	○やり取り遊び ・パネルのにじうおから、ウロコを剥がして魚たちに貼る。 ・魚役になり「ください」を表出し教員からウロコを受け取る。	・パネルのにじうおを泳ぐように登場させ、注視、追視できるようにする。 ・手本を見せて、魚にウロコを貼ることが分かるようにする。 ・「ください」の表出でウロコをもらえることを繰り返し行うようにする。
まとめ	○本時の活動の振り返りをする。 ○終わり挨拶	・本やパネル等使用した教材を見て。今日の活動を振り返られるようにする。 ・授業の終わりを明確にし、切り替えられるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



にじうおのキラキラウロコがマジックテープではがれるようになっている。
小さな魚たちに貼れるようになっている。
背景は軽量なスチレンボードにネル生地を貼ってある。



訪問に持って行くことと児童がベッドサイドで見やすい大きさにこだわり、A4サイズにした。
A4サイズ用の袋に収納できる。

小学部 自立活動を主とする教育課程 「めっきらもつきら どおんどん」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・読み聞かせを聞き、物語の雰囲気を感じる。
- ・創作活動を通して、話の内容を具体物や素材で表現する。



(作:長谷川 摂子 絵:ふりや なな)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~18)、話す(4~12)
読む(2~12)、書く(4~12)
数と計算(2)
量と測定(2)
図形(2)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

- 知技「ア(イ)・イ(ア)」
- 思判表「Aアイ・Cアエ」

数学:小一段階

- 知技「Aア(ア)㊦アイ㊦」
- 思判表「Aア(イ)㊦・Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・期待感もてるような言葉掛けをする。絵本を見せる。
展開①	○タブレット端末で「めっきらもつきら どおんどん」の読み聞かせ動画を見る ○内容を確認する 登場人物、場面を一緒に確かめる	・聞き取りやすい声の抑揚や声量、速さなどに配慮する。 ・ページをめくりながら、簡潔に説明する。
展開②	○物語の場面を体験し、創作活動に取り組む。 ・3つの場面 ①しっかかもつかか(風を送る→スズランテープをちぎり風になびかせる) ②お宝まんちん(BGMを流して期待感をもたせる→宝作り) ③もんもんびゃっこ(綱引き→紙テープを貼る)	・素材は本人の手にしっかり持たせ、感触を味わえる時間を十分に取る。
まとめ	○振り返り ○あいさつ	・完成したスケッチブックを再度見て、よかったところを指摘する。

絵本
解説

活動
解説

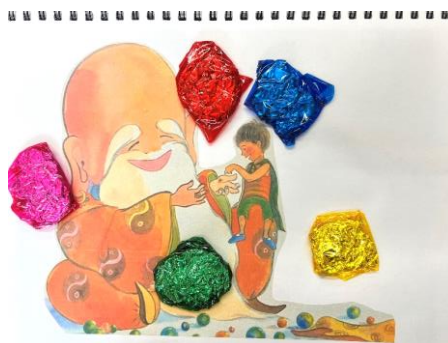
活動の教材と使い方

※ベットサイドでも行えるように教材の大きさ、提示の仕方を工夫した。創作活動では、小さめなスケッチブックで作り、保管がしやすいようにした。



うちわで風を送る。スズランテープをちぎり、うちわであおぐとゆらゆら揺れる感覚を、手で触って確かめる。ちぎったスズランテープをスケッチブックに貼る。

輝くBGMを流し、アルミホイルとカラーセロファンで宝を作る。宝の形は、本人の手の平に素材をのせて、包み込むように形取った。



縄を持ち、綱引きをしたり、10回まわしたりした。カラーテープをスケッチブックに貼る。

小学部 自立活動を主とする教育課程 「めっきらもっきら どおんどん」

絵本
解説

教材

ねらい

- 絵本の世界を理解し、楽しむ。
- 絵本の内容に沿った遊びを楽しみ、好きな遊びを選ぶことができる。
- 目線や手を動かして、自分から行動しようとする。



(作:長谷川摂子・ふりや なな)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4)、話す(6)
- 読む(4)、書く(2)
- 数と計算(2)
- 量と測定(2)
- 図形(2)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
 - 知技「アア(ア)(イ) イイウ(イ)(エ)」
 - 思判表「A7,イ・C7,エ」
- 算数:小一段階
 - 知技「A7(ア)㉞㉟,B7(ア)㉞㉟,C7(ア)㉞㉟」
 - 思判表「A7(イ)㉞, A1(イ)㉞, C7(イ)㉞」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	1)ミニ紙芝居を見る。 2)一回目:遊びを全種類行う。 (①もんもんびやっこ ②しっかかもっかか ③おたからまんちゃん ④おもちのなる木) ※裏面参照 二回目以降:上記の道具を見て自分で選んだ遊びを行う。 3)動画で絵本を見る。	1)側臥位でも見やすいようなサイズにする。 2)縄や風呂敷など一人では持ち続けられない場合は、手首にしばるなど、その日の体調に合った工夫をする。 3)状況をつかみやすくするためにBGMや効果音を入れる。
まとめ	4)本日の活動を振り返る。 5)終わりの挨拶をする。	4)使った教材の中から楽しかった活動を選ぶ。



活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説

- ①ミニ紙芝居。
- ②もんもんびやっこ:縄の端を持ち、わらべ歌を歌いながら縄を回したり揺らしたりする。
- ③しっかかもっかか:かつらを被り鏡で自分の姿を見る。→風呂敷の端を持ちパタパタと風を起こして遊ぶ。
- ④お宝まんちゃん:部屋を暗くして光るおもちゃを目で追ったりスイッチでおもちゃをON・OFFして遊ぶ。
- ⑤おもちのなる木:おもちゃを一つずつつかみ取る。
- ⑥動画で絵本を見る。

中学部 自立活動を主とする教育課程 国語・数学「さんまいのおふだ」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・昔話を通していろいろな言葉に触れ、話の展開を期待して見聞きする。
- ・興味をもって見たり主体的に手指を動かしたりして、話に即した活動に取り組む。



【生徒の実態】
姿勢 車いす ベッド
呼吸器 (あり) なし
発声 (あり) なし
手の可動域 なし (小さい 大きい)
保護者付き添い (あり) なし

『学習指導要領の内容』
国語: 小1段階
○目標 アイ
○内容「知識及び技能」ア (ア)(イ)イ(ア)(エ)「思考力、判断力、表現力等」Aア
イウ cアエ
数学: 小1段階
○目標 Aアイ
○内容 Aア(ア)㊦(イ)㊦

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○本時の活動の確認	・活動①ものがたり②ふりかえり③かつどう を絵と文字で提示する。
展開①	○「さんまいのおふだ」の話を見聞きする。	・絵本とタブレット端末を使い分け、見やすく提示する。タブレット端末では、展開部で効果音を入れる。 ・言葉の抑揚や間の取り方を工夫して朗読する。
展開②	○ふりかえり ・登場人物や出来事を確認する。 ・絵カードを見て同じ物や活動を選ぶ。 ○話に即した活動 ・具体物を動かし、イメージしながら活動する。	・暗い背景でカードを示す。 ・絵カードを2枚ずつ準備し、「同じ」「やりたい」の選択を促す。 ・「こえ」はスイッチを押し、「かわ」「やま」は具体物に直接触れてイメージをもてるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



- ・スイッチに、お札の声「まーだまだ」を録音する。
- ・本人が押して鳴らす。



- ・お札を3枚、登場人物と活動の絵カードを2枚ずつ作る。
- ・背景は、軽量の黒板を使用する。
- ・絵カードを両端にピンで固定し、見比べられるようにする。



- ・「かわ」は、水色のオーガンジー布を細長く作る。本人と教員で端を持ち揺らす。
- ・「やま」は、洗濯ネットの中に使用済みの紙を入れている。ネット越しに押したり叩いたりすると、「シャカシャカ」と砂を踏むような音が出る。握っても叩いてもよい。

【授業を行う場所】

- ・自宅のリビングルーム。車いす1台、椅子が2脚分のスペースあり。タブレット端末や教材は椅子の上下に置く。

【配慮事項】

- ・本人の視線の動きを確認し、提示物までの距離や高さを調節する。

中学部 自立活動を主とする教育課程 国語「たいこうちたろう」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・絵本を読みながら、展開に期待したり、内容を理解したりすることができる。
- ・さまざまな道具を使用し、太鼓の音色やリズム感を楽しもうとする。
- ・見通しを持って、太鼓を鳴らす活動に取り組む。



【生徒の実態】	
姿勢 車いす	ベッド
呼吸器	あり なし
発作	あり なし
手の可動域	なし 小さい 大きい
保護者付き添い	あり なし

【学習指導要領の内容】	
国語・小一段階	
○目標 アイ	
○内容「知識及び技能」(2)ア(ア)	
(イ) イ(ア)	
「思考力、判断力、表現力」Aアイ C	
ア	
数学・小一段階	
○目標 B ア	
○内容 Bア(ア)①②	

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動視覚提示を行う。
展開①	○物語「たいこうちたろう」読み聞かせ	・太鼓の音はリズム遊びとして軽快に読み、後半に向けて抑揚を付け、展開に期待できるようにする。
展開②	○体験活動 ①バチで太鼓を打つ。 ②ボールを落として太鼓を鳴らす。 ③ビー玉を付けた手袋を装着し、太鼓を鳴らす。 ④タブレット端末の太鼓を鳴らす。 ⑤ビッグマックを押して雷の音を出し、龍を登場させる。	・太鼓の音や、雷の音に意識できるよう、少ない力でも音が出やすい補助具や、タブレット端末、ビッグマックを使用する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・実際に使用した教材を提示し、本時の活動を振り返る。

【活動の教材と使い方】



バケツから取ったボールを、太鼓の上に落として音を鳴らす。
さまざまな形のボールを用意し、音の変化を楽しむ。
ボールの数を数える。
<工夫点>
太鼓の周りに透明フィルムを貼り付け、ボールが落ちないようにした。



ビー玉を付けた手袋と、指サックを生徒の指に装着し、太鼓を鳴らす。
<工夫点>
生徒の指によりフィットするよう指サックにマジックテープを付け、サイズを調節できるようにした。



ビッグマックを押して雷の音を出し、龍を登場させる。
<工夫点>
龍は生徒が見やすい大きさにした。

【授業を行う場所】

- ・自宅のリビングルーム、ベッド

【配慮事項】

- ・手を動かす時は、手首や肘を支える。
- ・手が冷たい場合は、手を出す時間を短時間にする。

中学部 自立活動を主とする教育課程 国語「さんまのおふだ」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・お札を手離してから、活動に入る流れを理解することができる。
- ・「小僧、まだか」の言葉掛けを聞いて、スイッチを押そうとする。
- ・お札の色により、活動の見通しをもって取り組む。



【生徒の実態】
姿勢 車いす ベッド
呼吸器 あり なし
発作 あり なし
手の可動域 なし 小さい 大きい
保護者付き添い あり なし

【学習指導要領の内容】
国語:小一段階
○目標 ア イ
○内容「知識及び技能」(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(エ)
「思考力、判断力、表現力」Aアイウ
数学:小一段階
○目標 Aア イ
○内容 Aア(ア)②(イ)②

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・教材を提示する。
展開①	○絵本の読み聞かせ	・見やすい位置に提示する。
展開②	○お札を手から離す。 輪にした紐を教員と棒にかける。 教員とスイッチを押し、セリフを流す。 ○お札を手から離す。 青い薄布の上に山姥カードをのせ、教員と布を持って揺らす。 ○お札を手から離す。 ベッド上の砂山を教員と揺すり、砂山の上の山姥カードを落とす。	・扱いやすい紐を準備。 ・教員が「小僧、まだか？」と言葉掛けしたら、スイッチを押す。 ・山姥カードに鈴を付け、位置をわかりやすくする。 ・砂山は空気を入れたビニール袋の上に、灰色の薄布をかける。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



一枚目のお札を手から離す。
紐の輪を柱(棒)に教員とかける。
「小僧、まだか？」という教員の言葉掛けを聞いたら、教員とスイッチを押し、「まだ、まだ、まだ」という応答の言葉を流す。



二枚目のお札を手から離す。
青い薄布の上に山姥カードをのせ、布を教員と持って揺らす。
カードに付けた鈴の音を聴いて、山姥が川で溺れていることを知る。



三枚目のお札を手から離す。
空気を入れたビニール袋に灰色の薄布をかけて、ベッドに砂山を作る。
教員と薄布を触って感触を受け止め、砂山の上ののせた山姥カードを揺すって下に落とす。

【授業を行う場所】

- ・自宅リビングルーム、ベッド

【配慮事項】

できるだけ立体的な教材や音が出る教材を使い、教材がどこにあるのかが分かるようにする。

中学部 自立活動を主とする教育課程 国語「アリババと40人のとうぞく」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・2種類の言葉があることを理解することができる。
- ・教員が印を付けた方のスイッチを押そうとする。
- ・紐を引き、宝物を出そうとする。



【生徒の実態】
姿勢 車いす ベッド
呼吸器 あり なし
発作 あり なし
手の可動域 なし 小さい 大きい
保護者付き添い あり なし

【学習指導要領の内容】
国語: 小一段階
○目標 A アイ
○内容「知識及び技能」(2)ア(ア)(イ)
イ(ア)(イ)(エ)
「思考力、判断力、表現力」A アイウ
数学: 小一段階
○目標 A アイ
○内容 A ア(ア)②(イ)②

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・教材を提示する。
展開①	○絵本の読み聞かせ	・見やすい位置に提示する。
展開②	○教員とスイッチを押し、「開け、ゴマ」のセリフを流す。 ○かごの中の宝物を引っ張り出す。 ○教員とスイッチを押し、「閉じろ、ゴマ」のセリフを流す。	・セリフが流れたら、教員が布を引き、宝物を出す。 ・宝物に紐をかけておき、紐を引く。 ・セリフが流れたら、教員が布をかけ、かごを隠す。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



教員が示すスイッチを押す。
「開け、ゴマ」のセリフが流れたら、教員が布を引いて宝物を出す。



ざるの中から宝物を引っ張り出す。
宝物に付けている紐を引いて、引っ張り出す。



教員が示すスイッチを押す。
「閉じろ、ゴマ」のセリフが流れたら、教員が布をかけてざるを隠す。

【授業を行う場所】

- ・自宅個室、車いす乗車。

【配慮事項】

教員が右肘を支えると、自分で腕を動かすことができるため、自分で教材を操作する場面を設ける。

中学部 自立活動を主とする教育課程「ジャックと豆の木」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・相手と物を「もらう」「渡す」のやりとりを行う。
- ・主人公の行動を体験し、おおまかなストーリーを理解する。



(文:渡辺茂男 絵:スズキコージ)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(2~12)、話す(4~8)
- 読む(2~12)、書く(2~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
- 知技「ア(イ)・イ(ア)」
- 思判表「Aア・Cア、イ」
- 数学:小一段階
- 知技「Aア(ア)①、Bア(ア)イ」
- 思判表「Bア(イ)⑦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ・今日の活動の確認	・教材の大きさに配慮し、見やすい位置で提示する。
展開①	○読み聞かせ	・視覚に入る大きさの本を用意する。
展開②	○ストーリーに沿って体験活動を行う。 ・豆をもらう。 ・主人公が豆の木にのぼる、おりる。 ・金のたまごを生む鳥をさがす。 ・金貨と金のたまごを交換する。 ・豆の木を倒す。	* 提示する位置に配慮。 ・パペット人形から「もらう」。 ・ペープサートを使い一緒に動かす。 ・黒い布に隠れた鳥を探す。 ・パペット人形とやりとりをする。「もらう」「渡す」 ・「1、2の3」の掛け声で紐を引っ張り木を倒す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・印象に残った活動、楽しかった活動を絵カードを選んで発表する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・パペット人形(牛)から豆をもらう設定とし、やりとりを意識するようにした。
- ・豆は3個用意、フェルト素材で中に鈴を入れた。使う個数は、やりとりをしながら、授業ごとで変えるようにした。



- ・豆の木は、筒の中からつるがでてくる仕組み。つるを触って感触を確認し、ペープサートで主人公が登り降りする様子を見たり一緒にやる。
- ・教材の大きさは、生徒の視界に入る大きさに作成している。

中学部 自立活動を主とする教育課程「ろくべえまってるよ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語の世界観を楽しみ、視線や発声、身体の動き等で気持ちを表す。
- ・スイッチの因果関係に気付き、スイッチを押そうとする。

教材



(作: 灰谷健次郎 絵: 長新太)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~18)、話す(4~12)
- 読む(2~12)、書く(4~12)
- 数と計算(2~8)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

- 知技「ア(イ)・イ(ア)」

- 思判表「Aア・Cエ」

数学: 小一段階

- 知技「Aア(ア)⑦アイ⑦」

- 思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○タブレット端末で「ろくべえまってるよ」の読み聞かせ動画を見る ○登場人物の名前と人数を確認する	・生徒の見やすい位置にタブレット端末を提示する。 ・リズムや抑揚をつけて読み聞かせを行う。
展開②	○物語の場面を体験し、気持ちを考える。 ・3つのスイッチの体験 ①ライトをつける ②歌を流す ③風船をとばす ・かごの上げ下ろし体験 ・登場人物の気持ちを考える。	・本人の使いやすいスイッチを用いる。 ・スイッチだけでなく、ひもを引っ張るといった実際の活動も取り入れる。 ・表情カードで選びやすくする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・頑張っていた場面をほめたり、本人に印象深い場面を聞いたりする。

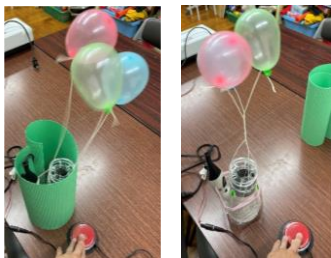
絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方

※訪問授業は教材を家庭に持ち込むので、できるだけコンパクトに。家庭で電源を借りられるかも事前に聞いておく。

黒い紙袋を穴に見立て、中にいるろくべえを、スイッチを用いてライトで照らし、見付けられるようにした。



リレースイッチとドライヤーをつなぎ、さらにジェリービーンスイッチをつなげ、押すことで風が出て、風船が飛ぶようにした。ドライヤーは見えないう、写真左のように覆って隠した。

表情を見比べて、「こまった、こまった」なのか「やったあ」なのかを選択するために表情カードを用いて視線や発声で選択できるようにした。

教員と一緒にひもを引っ張り、かごに入ったろくべえとクッキーの重さを体感した。

高等部 自立活動を主とする教育課程 国語「詩:つるつるとざらざら」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・オノマトペや繰り返しのことばのリズムの響きを感じる。
- ・様々な素材に触れ、感じたことを表情や体の動きで表そうとする。
- ・見通しを持ち、落ち着いて朗読を聞いたり、素材に触れようとする。



【生徒の実態】
姿勢(車いす) ベッド
呼吸器 あり(なし)
発作 あり(なし)
手の可動域
なし(小さい) 大きい
保護者付き添い
あり(なし)

『学習指導要領の内容』

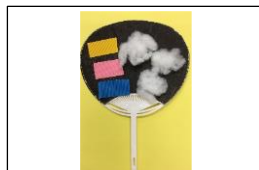
国語:高 1段階
○目標:(ア)
○内容:「自立活動」
○目標:4(4)、6(2)

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・流れを説明し、教材を提示する。
展開①	○作者の朗読する「つるつるとざらざら」を鑑賞する。 ○OMTが朗読する詩を鑑賞する。	・作者の朗読はやや早口であるため、再度ゆっくりと、まとめごとに朗読する。
展開②	○朗読を聞き、様々な素材に触れてみる。	・触るときに「つるつるだね」「ざらざらだね」と伝え、ことばと感触がつながるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・実際に使った教材を提示しながら振り返る。

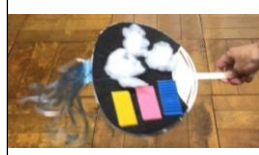
【活動の教材と使い方】



一連ごとに詩の朗読を聞いた後、うちわの片面についた「つるつる(クリアファイル)」「ざらざら(紙やすり)」「べっとべと(養生テープ)」に触れてみる。



上記同様、一連ごとに詩の朗読を聞いた後、うちわのもう片面についた「がったがた(波段ボール)」「ふんわふわ(綿)」に触れてみる。
それぞれの感触や、違いを感じ、もっと触ってみたいという気持ちや、少し苦手だな、といった本人の思いを引き出す。



詩の最後の連である「そよそよ(すずらんテープ青・白)」の朗読を聞いた後、うちわを生徒に向けて仰ぎ、そよそよと音を立ててなびくすずらんテープの音や風、感触を感じる。

<工夫したところ>
訪問指導で使うので、1枚のうちわで完結できるよう、素材を盛り込んだ。
うちわの特性を利用し、見る・触るだけでなく、吹く風やその音も表現できるようにした。

【授業を行う場所】

- ・整肢療護園学習室。車いす乗車。

【配慮事項】

- ・発作時や様子がいつもと違う場合はナースコールをする。
- ・覚醒リズムに波があるため、状況に応じて内容を工夫する。

中学部 自立活動を主とする教育課程 音楽「2拍子を感じて鳴らそう」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・曲の雰囲気気気付くとともに、発声や器楽活動の技能を身に付けるようにする。
- ・音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。
- ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら豊かな情操を培う。



<p>【生徒の実態】</p> <p>姿勢(車いす) ベッド</p> <p>人工呼吸器(あり) なし</p> <p>整作(あり) なし</p> <p>手の可動域 なし(小さい) 大きい</p> <p>保護者付き添い (あり) なし</p>

『学習指導要領の内容』

音楽：中学部 1段階
 ○目標(イ)(ウ)
 ○内容A「表現」
 B「鑑賞」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・タブレット端末のキーノートで進行する。
展開①	○始まりの歌を聴く。 ○片方のフィンガーシンバルを持ち、手元に視線を向ける。	・教員がもう片方のフィンガーシンバルを近づけ、生徒からの動きを待つ。または教員から当てる。
展開②	○季節の布を見て秋の雰囲気を感しながら唱歌を味わう。 ○テーブルカスタネットに触れて鳴らす。	・秋の布を頭上で揺らし、秋の風景をイメージできるようにする。 ・行進曲で2拍子のリズムを節奏する。手を動かしやすい位置にカスタネットを提示し意欲を引き出す。
まとめ	○今日の活動を振り返る ○終わりの歌を聴く。 ○挨拶	・発声や楽器を鳴らしたことを振り返る。 ・終わりの歌でクールダウンし、次回を楽しみにする。

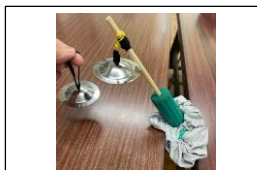
【活動の教材と使い方】



季節の布：視線を上げて注目し、布の色やシンボルとなるイラストに気付いて各季節のイメージをもつ。

<工夫点>

- ・春夏秋冬用、4枚作成
- ・薄手で軽量、程よいハリ感があり、透け感や光沢感があるオーガンジー布を使用。
- ・車いす、ソファ、ベッドなどの上で軽く揺らせるよう、大きさを工夫した。



フィンガーシンバル：緑のグリップを握る手をシュシュで覆い、一人で動かせるようにする。

<工夫点>

- ・音色がきれいなフィンガーシンバルを使用
- ・握りやすい太さにグリップを装着
- ・揺れて響く音色に興味をもち、意識を向けられるようにする。



テーブルカスタネット

<工夫点>

- ・既製品は重いので、土台を発砲スチロール製にして軽量化した。
- ・主体的な動きに合わせられるよう、テーブル上以外でも提示できるものにした。
- ・裏面はすべり止めを貼っている。

【授業を行う場所】

- ・自宅(リビングルーム)ベッド横は、車いす1台、椅子が2脚分のスペースあり。タブレット端末、楽器などは、椅子の上下に置く。

【配慮事項】

- ・脇を開き肘を前に出すよう、タオルやクッションを肘周辺に挟む。
- ・タブレット端末や楽器は、約20cmの見やすい距離で提示する。

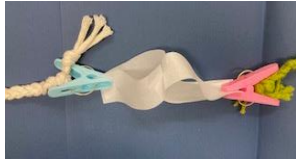
小学部 自立活動を主とする教育課程 体育「運動会をしよう」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・競技の簡単なルールを知る。
- ・活動を意識し、指や口元に力を入れる。
- ・教員と一緒に、積極的に競技に取り組もうとする。



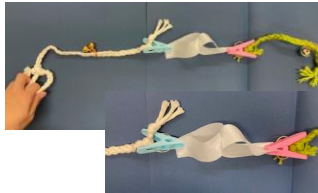
【生徒の実態】
姿勢 悪い(ペッド)
呼吸器(あり) なし
発作 あり(なし)
手の可動域 なし 小さい(大きい)
保護者付き添い あり(なし)

『学習指導要領の内容』

- 体育：中一段階
 ○目標(イ)(ウ)
 ○内容A「表現」
 高一段階
 ○目標(ア)

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認 ○ハチマキを付け、選手宣誓をする。 ○応援合戦で身体を動かす準備をする。	
展開①	○綱引きを行う。 ・大きく太い綱を両手で握り、綱の固さや引っ張る・引っ張られる動きを体感する。 ・小さな綱で教員と対戦する。	・綱に指を引っかけないように注意する。 ・綱を引く時には「オーエス」と声を掛け、意識を促す。
展開②	○パン取り競争を行う。 ・頭上にあるパンの模型を握り、引っ張って取る。 ・時間があれば、時間を計測する。	・どのパンを取りたいか、児童の気持ちを確認しながら行う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・結果発表、メダルの授受 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・メダルを渡すときは、音楽をかけ、運動会の雰囲気をつくる。

【活動の教材と使い方】



- ①洗濯ばさみに半紙(長さ:5~6cm、幅:2cm程度半分に折り、切れ目を入れる)をU字に絡めて挟む。
- ②児童と教員それぞれが紐を握り、「よーい、スタート」の後で、引っ張る。
- ③半紙が破けた方が負け。



- ①突っ張り棒に紐と洗濯ばさみを付ける。
- ②洗濯ばさみにパンの模型を挟む。(挟みすぎると、力が必要になるのでギリギリで挟む。)
- ③児童がパンを握って、引っ張る。
- ④取れたパンの数を数える。
時間があれば、パンの個数を増やしたり、時間を測ったりする。



- ・結果発表の際に、音楽を掛けながら、渡す。

【授業を行う場所】

- ・自宅(リビングルーム)
- ・低体温のため、掛物を多くかけている。

【配慮事項】

- ・手を動かすときは、手首や肘をしっかりと支える。
- ・爪が教材に引っかからないように注意する。

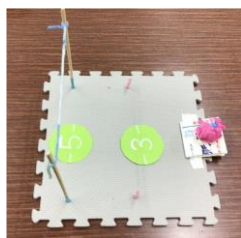
小学部 自立活動を主とする教育課程 体育「ラグビーキックゲーム」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・足を動かして、花紙ボールを飛ばすことを理解している。
- ・キック台から足を滑らせ、ボールを飛ばす。
- ・合図でボールを飛ばし、ラグビーキックゲームをしようとする。



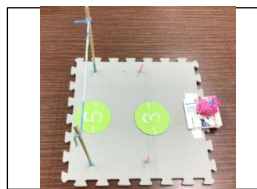
【生徒の実態】
姿勢 車いす(ベッド)
呼吸器 あり(なし)
発作 あり(なし)
手の可動域 なし(小さい)大きい
保護者付き添い あり(なし)

『学習指導要領の内容』

- 体育：小一段階
 ○目標(ウ)
 ○内容E「ボール遊び」
 小一段階
 ○目標(ウ)

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・具体的な教材を提示する。
展開①	○ラグビーについて知る。 ○使用するボールを作る。(花紙をまるめる) ○教員の見本を見る。	・キーノート使用。 ラグビーの雰囲気をつかめるよう動画を提示する。 ・ボールを作ることで気持ちが向かうようにする。
展開②	○キック台から足を滑らせてボールを飛ばす練習をする。 ○ゲームのルールを聞く。 ○ゲームをする。(2回) ○得点の発表をする。	・足の様子やボールの動きが分かるように鏡を使用する。 ・得点版に1点=1枚のシールを貼って視覚的に分かるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ○挨拶	・教材や得点版を見て振り返られるようにする。

【活動の教材と使い方】



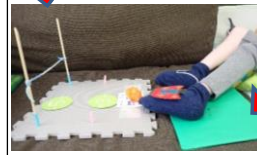
「ラグビーキックのコート」

ジョイントマット(33×33)使用。ベッドの上でも傾くことなく設置でき、軽量。やわらかく安全。ジョイントマットに穴を開け、ストローを入れる。ゴールは割りばしでストローにジョイントして立てる。持って行くときは外してコンパクトにできる。手前が「3点」奥が「5点」エリア



「キック台」と「ボール」

牛乳パックを切って作成。ボールが転がらないように5ミリ程度の高さのあるボール止めをつけている。
ボールは、卓球ボール、紙風船など試したが重すぎた。花紙を一枚(1g弱)が程よい重さと大きさになった。持って行く時は紙で持って行くのでコンパクト。



「すべり板」

ベッドサイドで布の上から足を滑らせるのは摩擦が大きく、動きにくい。色画紙を貼ったすべり板を置くことで児童が足を動かすと程よく滑ってキック台から足を滑らせることができた。

【授業を行う場所】

- ・自宅のリビングルームソファ。片側は背面、壁のため片側からの介助、支援をする。

【配慮事項】

- ・足が動きやすいように、ひざ下にタオル等で高さを調整する。
- ・ボールが飛ぶため、周囲の物に気を付ける。

小学部 自立活動を主とする教育課程 体育「綱引きをしよう」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・綱や補助具を持ち続けることや自分の方に引っ張る動きをすることが分かる。
- ・綱や補助具を持ち続けたり、引っ張ったりして、絵を動かすことができる。
- ・絵を動かすために手を動かさそうとする。



【生徒の実態】
姿勢 車いす(ベッド)
呼吸器 あり(なし)
発作 あり(なし)
手の可動域 なし(小さい) 大きい
保護者付き添い あり(なし)

『学習指導要領の内容』

体育:小1段階
○目標 ア
○内容A「体づくり運動遊び」(ア)

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・具体的な教材や綱引きの動画などイメージをもちやすくする。
展開①	○「綱引き」について知る。 ○ゴム綱引き(教材1)を持ち続けることと引っ張る動きをすることを教える。	・綱引きの動画など具体的な提示を行う。
展開②	○引っ張る動きをしてみる。 ○綱引きボード(教材2)を使用し、制限時間で引っ張り続け、距離を確認する。 ○紙テープ綱引き(教材3)を教員と行う。	・引っ張るとゴムが伸びる教材で引っ張った感覚がつかめるようにする。 ・タイマーや音楽をかけ時間を図る。 ・視覚的に動いた距離を確認して達成感を味わえるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動を思い出す。 ・頑張ったことを発表する。 ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



教材1)ゴム綱引き

牛乳パックに輪ゴムをひっかける(パッチンカエルと同じ)パックの1角にタコ糸をつけ、紐を伸ばす。根元に鈴をつけると音が鳴り、引っ張ったことが分かりやすい。



教材2)綱引きボード

A4ホワイトボードにマスキングテープで線を付ける。対戦相手のイラストの裏にマグネットを貼り、紐を付ける。

制限時間(音楽をかけたり、タイマーでもよい)を設定し、紐を引っ張る。
制限時間内でテープの位置よりどのくらい動いたか評価する。達成感が分かる。



教材3)紙テープ綱引き(オオバコずもうの要領)

書道用紙を細く切る(2本)。1本に切り込みを入れる(実態に合わせて加減する)2本を絡ませ、端を紐を付けた洗濯ばさみで挟む。紐を持つ、シュシュを付けて持つなどしてお互い引っ張り合う。破けた方が負け。

児童に合わせて紙の切り込みや、紐の長さ、持ち手の工夫をする。引っ張る・引っ張られる感覚が伝わりやすい。勝敗が分かりやすい。

【授業を行う場所】

- ・自宅のリビングルームソファ。片側は背面、壁のため片側からの介助、支援をする。

【配慮事項】

- ・引く活動の時に、腕や手首等をしっかりと支える。

中学部 自立活動を主とする教育課程 美術「フォトフレーム作り」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・説明を聞き、内容を理解したり、好きな色を選んだりすることができる。
- ・様々な道具や素材を使用し、作品を作り上げる工程を楽しもうとする。
- ・事前に塗る場所を決めることにより、見通しを持ちながら活動に取り組む。



【生徒の実態】	
姿勢 車いす	ベッド
呼吸器	あり なし
発作	あり なし
手の可動域	なし 小さい 大きい
保護者付き添い	あり なし

【学習指導要領の内容】	
美術：中学部 1段階	
○目標	ア ウ
○内容A「表現」	
○内容B「鑑賞」	

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動視覚提示を行う。
展開①	○説明「フォトフレーム作り」 ○手の体操	・分かりやすい言葉で、短く説明する。実演をする。 ・握る活動が多いので、手をしっかりほぐす。
展開②	○色を塗る ①刷毛で下地を塗る。 ②丸筆で主な色を塗り重ねる。 ③ビーズやラメをのせる。	・アクリル絵の具のため、服や布に付かないよう十分に気を付ける。 ・塗る前に言葉掛けをして、取り組みやすいようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・実際に使用した教材を提示し、本時の活動を振り返る。

【活動の教材と使い方】



スプーンで素材をすくい、台紙に散りばめる。
 <工夫点>
 柄が太くて持ちやすいスプーンに加え、その生徒が握りやすいように、すべり止めシートを巻き、調整した。



スプーンですくい上げた素材を、コップの中へ入れる。
 <工夫点>
 コップを透明にすることで、中身が見えるようにした。
 コップを揺らして音を鳴らし、聴覚でも素材を把握しやすいようにした。



コップを手に固定し、手首を返しながらかゆつくりと素材を落とす。
 <工夫点>
 生徒の手にフィットするようにゴムの長さを調節した。

【授業を行う場所】

- ・自宅のリビングルーム、ベッド

【配慮事項】

- ・爪が柔らかいので、ゴムを付ける時に強く当たらないよう気を付ける。
- ・手を動かす時は、手首や肘をしっかりと支える。

小学部 自立活動を主とする教育課程 生活単元学習「自由研究をしよう」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・スライムの材料や作り方を知る。
- ・スライムや材料の感触や匂いを感じ、選択肢を選んで予想を立てる。
- ・実験に興味をもち、口や顔を動かして応えようとする。

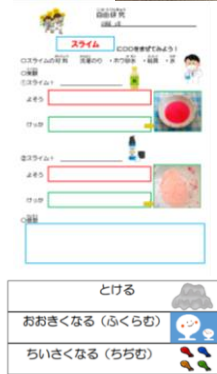
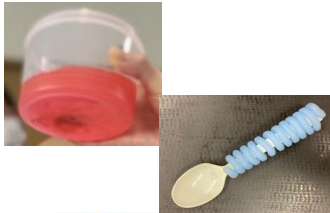


【生徒の実態】
姿勢 車いす (ベッド)
呼吸器 (あり) なし
発作 (あり) (なし)
手の可動域 なし 小さい 大きい
保護者付き添い (あり)なし

『学習指導要領の内容』
生活単元学習:小一段階
○目標(ア)(ウ)
○内容(シ)
「ものの仕組みと働き」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・サインをしながら挨拶する。
展開①	○スライム作り ・材料を確認する。 ・材料をスプーンで混ぜる。 ・スライムに触る。	・ベッドが汚れないようにビニールを敷く。 ・グリップ付きのスプーンを使用する。
展開②	○実験タイム ・スライムに混ぜたいものを2つ選ぶ。(酢、シェービングフォーム、塩、レモン汁) ・混ぜる材料(今回は酢、シェービングフォームを選択)を触ったり、匂いを嗅いだりする。 ・予想を選択肢から選び、レポートに貼る。 ・スライムに選んだ材料を混ぜ、結果を見たり触ったりして確認する。	・選択肢を一つずつ見せ、反応があったものを残して、絞っていく。 ・じっくりとスライムに触らせて、感触を味わえるようにする。 ・手が冷えないように気を付ける。 ・レポート用の写真を撮影する。
まとめ	○まとめ ・レポートに結果を貼る。 ・教員と相談しながら感想を記入する。 ・できたレポートを確認する。 ○挨拶	・完成したレポートを見せ、達成感を味わえるようにする。

【活動の教材と使い方】



【スライム作り】

- ・酢、シェービングフォーム、塩、レモン汁から、スライム に混ぜたいものを児童に選択させた。アレルギーのある児童のため、事前に使用可能かを保護者と確認した。
- ・作業がしやすいようにグリップ付きのスプーンや仰臥位でも見えやすいように透明カップを使用した。
- ・作成したシェービングフォームスライムは本人にプレゼントし、授業後も遊べるようにした。

【レポート】

- ・研究内容をまとめるレポートは、予想の選択肢をいくつか用意し、事前に予想を立ててから結果を確認する流れで行った。
- ・作成したレポートは自宅に掲示してもらい保護者や訪問看護師などの様々な方に成果を見てもらうことができた。

【オンラインでの発表】

- ・研究した内容を通学籍の児童に向けて、オンラインで発表した。
- ・選択肢のカードを画面越しに見せながら、通学籍の児童に予想を立ててもらった。研究したことを友達に発表できるよい機会となった。

【授業を行う場所】

- ・自宅(リビングルーム)
- ・低体温のため、掛物を多くかけている。

【配慮事項】

- ・手を動かすときは、手首や肘をしっかり支える。

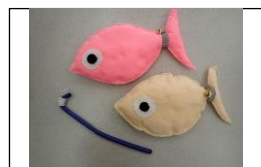
中学部 自立活動を主とする教育課程 生活単元学習「魚釣り」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・曲が始まってから活動に入る流れを理解することができる。
- ・「ドッコイショ」の掛け声を聞いて、力を入れようとする。
- ・繰り返し活動することにより、見通しをもって取り組む。



【生徒の実態】
姿勢 車いす ベッド
呼吸器 あり なし
発作 あり なし
手の可動域 なし (小さい) 大きい
保護者付き添い あり (なし)

【学習指導要領の内容】
生活単元学習: 小一段階
○目標 ア ウ
○内容 シ
「ものの仕組みと働き」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・教材を提示する。
展開①	○デモンストレーション	・見やすい位置に提示する。
展開②	○鈴音と重さで魚の位置を知らせる。 掛け布団の上に青い薄布を敷き、魚を置く。 ○「ソーラン節」が始まったら、教員と釣り竿を操作する。 「ドッコイショ」の掛け声で力を入れる。 ○竿で魚を釣り上げる。 竿と魚に付いているマジックテープで釣る。	・海を表す青い薄布、見やすい軽く大きな魚を用意。 ・竿(自在棒)の先にマジックテープを付ける。魚にもマジックテープを付ける。 ・「ソーラン節」を使用。 ・魚はカニューレ部分に近付けない。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



ベッドに仰臥位の姿勢、気管切開もしているため、安全を図り、釣り上げた魚を腹部部分で見るため、魚を大きくしている。
魚に鈴を付け、掛け布団に置いた時に、魚の重さとともに鈴音でどこにいるのかが分かるようにした。



釣り竿は、ソフトな握り心地、自由に曲げ伸ばしができる自在棒にした。本生徒の腹部の上で魚を釣り上げるため、ある程度の長さがあり、固定できる棒状のものがよい。棒の先にマジックテープが付いている。
* 布団の上で操作するため、磁石は使っていない。万が一落ちた際、見つけにくい。



「ソーラン節」が始まったら活動開始。「ドッコイショ」の掛け声が複数回あるので、それに合わせて教員と魚を釣り上げる。大きい魚のため、分かりやすく見応えがある。

【授業を行う場所】

- ・自宅リビングルーム、ベッド

【配慮事項】

魚を布団の上に置く際、言葉掛けをし、軽く布団をなで、魚の位置を伝える。

高等部 自立活動を主とする教育課程 生活単元学習「書初め」

絵本
解説

教材

ねらい(3観点)

- ・書初めを通して、季節の行事を知ることができる。
- ・墨のにおいを感じながら力を込めて書こうとする。
- ・できあがった作品を鑑賞する。



【生徒の実態】
姿勢 車いす ベッド
呼吸器 あり なし
聴覚 あり なし
手の可動域 なし 小さい 大きい
保護者付き添い あり なし

『学習指導要領の内容』
生活単元学習：小1段階
○目標：アイ
国語：小1段階
○目標：ア
○内容(ウ)ア

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・本時の流れを説明し、使用する道具等を提示する。
展開 ①	○「春の海」を鑑賞する。 ○いくつかの字を提示し、字の意味について説明をしながら書いてみたい字を選ぶ。	・お正月らしい音楽に触れ、雰囲気を感じる。 ・わかりやすい言葉で説明する。
展開 ②	○墨のにおいを感じながら、半紙に好きなように線を書く練習をする。 ○自分の決めた字を教員と一緒に色紙に書く。	・ぐるぐるグリップを用いて筆を持つが、教員も肘や手首等を支え、本人の動きを引き出しやすいようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

【活動の教材と使い方】



「春の海」の動画をタブレット端末で視聴し、お正月の厳かな雰囲気を味わう。



墨汁と筆。墨汁は香りがよいものだとお書道の雰囲気が感じられてよい。筆を持つ際に必要に応じて、ぐるぐるグリップをまくなどする。



テーブルが傾いているため、色紙を固定し書くため、クリップボードを使用する。下敷きと同じように黒いボードを使用する。

【授業を行う場所】

- ・整肢療護園学習室。車いす乗車。

【配慮事項】

- ・発作時や様子がいつもと違う場合はナースコールをする。
- ・覚醒リズムに波があるため、状況に応じて内容を工夫する。

訪問部 自立活動を主とする教育課程「にじいろのさかな」

絵本
解説

教材

ねらい

- 海の中の情景を感じて、絵本に興味をもち、見たり、聞いたりできる。
- 「ください」を表出して教員からウロコを受け取ることができる。



(作:マーカスフィスター
訳:谷川俊太郎
2007年講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~8)、話す(4~8)
読む(6~12)、書く(6~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~8)
図形(2~18)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(ア)イ(イ)」
○思判表「アイ イ」
算数:小一段階
○知技「ア(ア)イ(イ)」
○思判表「ア(ア)イ(イ)」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の内容を確認する。	・見やすい位置を確認する。 ・本など具体物を提示し、見通しがもてるようにする。
展開①	○本の表紙を見る。 ○波の音を聴いたり、合わせてオーシャンドラムを鳴らし、海の中のイメージを膨らませる。	・場面や中心人物に気付けるようにする。 ・ゆったりと波の音を出す。海の中の情景を膨らませるようにする。
展開②	○「にじいろのさかな」の絵本を見る。	・声の大きさ、速さ、抑揚に気を付け、聞きやすくする。
展開③	○やり取り遊び ・パネルのにじうおから、ウロコを剥がして魚たちに貼る。 ・魚役になり「ください」を表出し教員からウロコを受け取る。	・パネルのにじうおを泳ぐように登場させ、注視、追視できるようにする。 ・手本を見せて、魚にウロコを貼ることが分かるようにする。 ・「ください」の表出でウロコをもらえることを繰り返し行うようにする。
まとめ	○本時の活動の振り返りをする。 ○終わり挨拶	・本やパネル等使用した教材を見て、今日の活動を振り返られるようにする。 ・授業の終わりを明確にし、切り替えられるようにする。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



にじうおのキラキラうろこがマジックテープではがれるようになっている。
小さな魚たちに貼れるようになっている。
背景は軽量なスチレンボードにネル生地を貼ってある。



訪問に持って行くことと児童がベッドサイドで見やすい大きさにこだわり、A4サイズにした。
A4サイズ用の袋に収納できる。

在訪 小6A 自立活動を主とする教育課程「めっきらもっきら どおんどん」

絵本
解説

ねらい

- ・読み聞かせを聞き、物語の雰囲気を感じる。
- ・創作活動を通して、話の内容を具体物や素材で表現する。

教材



(作:長谷川 摂子 絵:ふりや なな)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~18)、話す(4~12)
 読む(2~12)、書く(4~12)
 数と計算(2)
 量と測定(2)
 図形(2)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

- 知技「ア(イ)・イ(ア)」
- 思判表「Aアイ・Cアエ」

数学:小一段階

- 知技「Aア(ア)⑦Aイ⑦」
- 思判表「Aア(イ)⑦・Cア(イ)⑦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・期待感もてるような言葉掛けをする。絵本を見せる。
展開①	○タブレット端末で「めっきらもっきら どおんどん」の読み聞かせ動画を見る ○内容を確認する 登場人物、場面を一緒に確かめる	・聞き取りやすい声の抑揚や声量、速さなどに配慮する。 ・ページをめくりながら、簡潔に説明する。
展開②	○物語の場面を体験し、創作活動に取り組む。 ・3つの場面 ①しっかかもっかか(風を送る→スズランテープをちぎり風になびかせる) ②お宝まんちん(BGMを流して期待感をもたせる→宝作り) ③もんもんびゃっこ(綱引き→紙テープを貼る)	・素材は本人の手にしっかり持たせ、感触を味わえる時間を十分に取る。
まとめ	○振り返り ○あいさつ	・完成したスケッチブックを再度見て、よかったところを指摘する

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方

※ペットサイドでも行えるように教材の大きさ、提示の仕方を工夫した。創作活動では、小さなスケッチブックで作り、保管がしやすいようにした。



うちわで風を送る。スズランテープをちぎり、うちわであおぐとゆらゆら揺れる感覚を、手で触って確かめる。ちぎったスズランテープをスケッチブックに貼る。

輝くBGMを流し、アルミホイールとカラーセロファンで宝を作る。宝の形は、本人の手の平に素材をのせて、包み込むように形取った。



縄を持ち、綱引きをしたり、10回まわしたりした。カラーテープをスケッチブックに貼る。

訪問部小6 自立活動を主とする教育課程「めっきらもつきら どおんどん」

絵本
解説

教材

ねらい

- 絵本の世界を理解し、楽しむ。
- 絵本の内容に沿った遊びを楽しみ、好きな遊びを選ぶことができる。
- 目線や手を動かして、自分から行動しようとする。



(作:長谷川暎子・ふりや なな)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4)、話す(6)
- 読む(4)、書く(2)
- 数と計算(2)
- 量と測定(2)
- 図形(2)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
- 知技「アア(ア)(イ) イイウ(イ)(ウ)
 - 思判表「Aア、イ・Cア、エ」
- 算数:小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦㊧, Bア(ア)㊨㊩, Cア(ア)㊪㊫」
 - 思判表「Aア(イ)㊬, Aイ(イ)㊭, Cア(イ)㊮」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	1)ミニ紙芝居を見る。 2)一回目:遊びを全種類行う。 (①ももんびゃっこ ②しっかかもっかか ③おたからまんちゃん ④おもちのなる木) ※裏面参照 二回目以降:上記の道具を見て自分で選んだ遊びを行う。 3) 動画で絵本を見る。	1) 側臥位でも見やすいようなサイズにする。 2) 縄や風呂敷など一人では持ち続けられない場合は、手首にしばるなど、その日の体調に合った工夫をする。 3) 状況をつかみやすくするためにBGMや効果音を入れる。
まとめ	4) 本日の活動を振り返る。 5) 終わりの挨拶をする。	4) 使った教材の中から楽しかった活動を選ぶ。



活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説

- ①ミニ紙芝居。
- ②ももんびゃっこ:縄の端を持ち、わらべ歌を歌いながら縄を回したり揺らしたりする。
- ③しっかかもっかか:かつらを被り鏡で自分の姿を見る。→ 風呂敷の端を持ちパタパタと風を起こして遊ぶ。
- ④お宝まんちゃん:部屋を暗くして光るおもちゃを目で追ったりスイッチでおもちゃをON・OFFして遊ぶ。
- ⑤おもちのなる木:おもちを一つずつつかみ取る。
- ⑥動画で絵本を見る。

在訪 中2 自立活動を主とする教育課程A1グループ「ろくべえまってるよ」

絵本
解説

ねらい

- ・物語の世界観を楽しみ、視線や発声、身体の動き等で気持ちを表す。
- ・スイッチの因果関係に気付き、スイッチを押そうとする。

教材



(作:灰谷健次郎 絵:長新太)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~18)、話す(4~12)
 読む(2~12)、書く(4~12)
 数と計算(2~8)
 量と測定(2~12)
 図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「Aア・Cエ」
 数学:小一段階
 ○知技「Aア(ア)⑦Aイ(ア)」
 ○思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○タブレット端末で「ろくべえまってるよ」の読み聞かせ動画を見る ○登場人物の名前と人数を確認する	・生徒の見やすい位置にタブレット端末を提示する。 ・リズムや抑揚をつけて読み聞かせを行う。
展開②	○物語の場面を体験し、気持ちを考える。 ・3つのスイッチの体験 ①ライトをつける ②歌を流す ③風船をとばす ・かごの上げ下ろし体験 ・登場人物の気持ちを考える。	・本人の使いやすいスイッチを用いる。 ・スイッチだけでなく、ひもを引っ張るといった実際の活動も取り入れる。 ・表情カードで選びやすくする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・頑張っていた場面をほめたり、本人に印象深い場面を聞いたりする。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説

※訪問授業は教材を家庭に持ち込むので、できるだけコンパクトに。家庭で電源を借りられるかも事前に聞いておく。

黒い紙袋を穴に見立て、中にいるろくべえを、スイッチを用いてライトで照らし、見つけられるようにした。



リレースイッチとドライヤーをつなぎ、さらにジェリービーンスイッチをつなげ、押すことで風が出て、風船が飛ぶようにした。ドライヤーは見えないう、写真左のように覆って隠した。



表情を見比べて、「こまった、こまった」なのか「やったあ」なのかを選択するために表情カードを用いて視線や発声で選択できるようにした。



教員と一緒にひもを引っ張り、かごに入ったろくべえとクッキーの重さを体感した。

在訪・中学部 自立活動を主とする教育課程A2「ジャックと豆の木」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・相手と物を「もらう」「渡す」のやりとりを行う。
- ・主人公の行動を体験し、おおまかなストーリーを理解する。



(文:渡辺茂男 絵:スズキコージ)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(2~12)、話す(4~8)
読む(2~12)、書く(2~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(イ)・イ(ア)」

○思判表「Aア・Cア、イ」

数学:小一段階

○知技「Aア(ア)④、Bア(ア)イ」

○思判表「Bア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ・今日の活動の確認	・教材の大きさに配慮し、見やすい位置で提示する。
展開①	○読み聞かせ	・視覚に入る大きさの本を用意する。
展開②	○ストーリーに沿って体験活動を行う。 ・豆をもらう。 ・主人公が豆の木にのぼる、おりる。 ・金のたまごを生む鳥をさがす。 ・金貨と金のたまごを交換する。 ・豆の木を倒す。	* 提示する位置に配慮。 ・パペット人形から「もらう」。 ・ペープサートを使い一緒に動かす。 ・黒い布に隠れた鳥を探す。 ・パペット人形とやりとりをする。「もらう」「渡す」 ・「1、2の3」の掛け声で紐を引っ張り木を倒す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・印象に残った活動、楽しかった活動を絵カードを選んで発表する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・パペット人形(牛)から豆をもらう設定とし、やりとりを意識するようにした。
- ・豆は3個用意、フェルト素材で中に鈴を入れた。使う個数は、やりとりをしながら、授業ごとで変えるようにした。



- ・豆の木は、筒の中からつるがでてくる仕組み。つるを触って感触を確認し、ペープサートで主人公が登り降りする様子を見たり一緒に行う。
- ・教材の大きさは、生徒の視界に入る大きさで作成している。

東京都立北特別支援学校 令和6年度 実践報告集

2025年1月 印刷

2025年1月 発刊

東京都立北特別支援学校

東京都北区十条台1-1-1

電話 03-3906-2321

FAX 03-3909-4795